

香川高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	コミュニケーション英語Ⅰ (前期課程)	
科目基礎情報							
科目番号	0001			科目区分	教養 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	電子情報通信工学専攻 (一般教育科)			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	鹿野晴夫『1日10分英語回路育成計画超音読レッスン日本紹介編』(IBCパブリッシング)『TOEICテスト これだけ英単語 新基準スコア600』(Newton Press) 宮野智靖『新TOEICテスト 文法問題は20秒で解ける!』(アスク)						
担当教員	森 和憲						
到達目標							
本科目は、将来的に受講生が就職を希望する企業から求められる英語運用能力を身につけるために、その基礎力を養うことを目標としている。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 語彙・文法能力		コミュニケーション能力の基礎となる英単語・英文法を身につける。		コミュニケーション能力に必要な最低限の英単語・英文法を身につける。		コミュニケーション能力に必要な最低限の英単語・英文法を身につけていない。	
評価項目2 読む能力		外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を辞書無しで読むことができる。		外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を辞書があれば読むことができる。		外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を辞書があっても読むことができる。	
評価項目3 書く能力		辞書やひな形、機械翻訳を利用して、自分の専門分野に関してプレゼンテーションの原稿およびスライドを作成することができる。		辞書やひな形、機械翻訳を利用して、自分の専門分野に関してプレゼンテーションの原稿およびスライドを英語教員の補助があれば作成することができる。		辞書やひな形、機械翻訳を利用して、自分の専門分野に関してプレゼンテーションの原稿およびスライドを英語教員の補助があっても作成することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法		1.教科書の音読演習を通して発音と聞く力および書く力を養う 2.演習問題を解くことで語彙や文法を習得する 3. プレゼンテーションの方法論を学習する 4. タスク中心の基礎英会話をを行い、話す力を養う					
注意点		授業時間の3分の2以上の出席が必要である。 定期試験の点数に次のTOEICスコアに応じた係数を乗ずる。 スコア380以上1, 360以上380未満0.9, 340以上360未満0.8,340未満0.7					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	教科書：No.1 スライド：ガイダンス・チーム決め テーマ決定 日本語作成の説明 英語への翻訳説明				
		2週	教科書：No. 2 スライド：日本語作成／スライド構成				
		3週	教科書：No. 3 スライド：第1回日本語提出				
		4週	教科書：No. 4 スライド：日本語訂正				
		5週	教科書：No. 5 スライド：第2回日本語提出／英語に直す				
		6週	教科書：No. 6 スライド：英語に直す				
		7週	教科書：No. 7 スライド：第1回英語提出				
		8週	教科書：No. 8 スライド：英語を訂正				
	2ndQ	9週	TOEIC受験				
		10週	教科書：No. 9 スライド：第2回英語提出				
		11週	教科書：No. 10 スライド：音声配布／音声指導				
		12週	教科書：No. 11 スライド：発表練習				
		13週	教科書：No. 12 スライド：発表練習				
		14週	教科書：No. 13 スライド：発表練習				
		15週	発表				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会 科学	英語	英語運用の 基礎となる 知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。			2	
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	50	20	0	0	0	30	100	
基礎的能力	50	0	0	0	0	30	80	
専門的能力	0	20	0	0	0	0	20	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	